

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 ヤマハ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7951 URL <http://www.yamaha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梅村 充

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長

(氏名) 山畑 聡

TEL 053-460-2141

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	204,347	△18.4	4,138	△69.0	2,848	△78.6	△837	—
21年3月期第2四半期	250,544	—	13,330	—	13,283	—	4,373	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△4.25	—
21年3月期第2四半期	21.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	410,039	254,103	61.3	1,275.08
21年3月期	408,974	251,841	60.9	1,262.42

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 251,489百万円 21年3月期 248,995百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	27.50	—	15.00	42.50
22年3月期	—	15.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当17円50銭 特別配当10円00銭

21年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当10円00銭

22年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当10円00銭

22年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当10円00銭

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	439,000	△4.4	6,000	△56.7	3,000	△75.0	0	—	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

先行きが不透明なため、当第2四半期においては、連結業績予想の見直しを行わず、据え置きます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、8ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	197,255,025株	21年3月期	197,255,025株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	19,775株	21年3月期	17,461株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	197,236,097株	21年3月期第2四半期	200,042,137株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1ページの連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、連結業績予想に関する事項は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間（以下、当第2四半期（3ヶ月）という）における当社及び連結子会社を取り巻く経済環境は、経済対策の効果もあって、一部に持ち直しの動きがあるものの、その範囲は限定的で、景気刺激策効果の息切れ、雇用悪化、消費低迷による先行き懸念や、円高・ドル安の進行が我が国企業の収益圧迫要因となっています。

このような状況の中で当社グループは、世界的な需要の落ち込みに対応するため、2008年11月に設置した「経営改革委員会」を中心に、引き続き経費の見直し、投資・イベントの絞込み等、業績改善への緊急対策を実行しております。また、徹底的な事業レビューを進める一方、将来に繋がる高付加価値商品の開発や成長事業領域への投資を選別し、中長期的な観点からの対応も同時に進めております。

当第2四半期（3ヶ月）の販売の状況につきましては、売上高は前年同期に比べ223億46百万円（17.6%）減少し1,049億18百万円となりました。消費の低迷などにより、全てのセグメントにおいて売上が減少したことに加え、為替影響による減収約107億円もあり、前年同期に比べて減収となりました。

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期累計（6ヶ月）という）の売上高は、為替影響による減収約187億円もあり、前年同期に比べ461億97百万円（18.4%）減少の2,043億47百万円となりました。

当第2四半期（3ヶ月）の損益につきましては、営業利益は前年同期に比べ37億72百万円減少し、39億2百万円、税金等調整前四半期純利益は、前年同期に比べ42億29百万円減少し、31億95百万円となりました。四半期純利益は、前年同期に比べ12億48百万円減少し、20億62百万円となりました。

当第2四半期累計（6ヶ月）では、営業利益は前年同期に比べ91億91百万円減少し、41億38百万円となりました。税金等調整前四半期純利益は、前年同期に比べ103億7百万円減少し、26億12百万円となりました。四半期純損失は、法人税等の計上及び繰延税金資産の減少等により、8億37百万円（前年同期は四半期純利益43億73百万円）となりました。

(1) 事業の種類別セグメントの業績

(楽器事業)

当第2四半期（3ヶ月）の売上高は、前年同期に比べ139億6百万円（16.3%）減少し、713億13百万円となりました。減収要因には、為替による影響が約85億円含まれており、その影響を除いた実質ベースの売上高は、前年同期に比べ約54億円の減収となりました。

商品別には、全ての商品群において前年同期に比べ減収となりました。ピアノは、中国では伸長しましたが、その他の地域で売上げ減少となりました。また、管楽器は国内、北米、欧州を中心に全体として大幅な減収となりました。

営業利益は、前年同期に比べ45億6百万円（59.3%）減少し、30億87百万円となりました。

なお、当第2四半期累計（6ヶ月）の売上高は、前年同期に比べ267億36百万円（16.1%）減少し、1,396億86百万円となりました。減収要因には、為替による影響が約149億円含まれており、その影響を除いた実質ベースの売上高は、前年同期に比べ約119億円の減収となりました。営業利益は、前年同期に比べ89億33百万円（64.6%）減少し、48億90百万円となりました。

(AV・IT事業)

当第2四半期(3ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ31億34百万円(19.0%)減少し、133億30百万円となりました。減収要因には、為替による影響が約22億円含まれており、その影響を除いた実質ベースの売上高は、前年同期に比べ約10億円の減収となりました。

商品別には、ルーターが堅調に推移しました。オーディオは、国内はエコポイント効果もあり、好調の一方、海外では北米市場及び欧州市場を中心に減収となりました。

営業利益は、前年同期に比べ2億90百万円(39.7%)減少し、4億40百万円となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ57億62百万円(19.0%)減少し、245億47百万円となりました。減収要因には、為替による影響が約38億円含まれており、その影響を除いた実質ベースの売上高は、前年同期に比べ約20億円の減収となりました。営業損失は26百万円(前年同期は、営業利益2億15百万円)となりました。

(電子部品事業)

当第2四半期(3ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ6億74百万円(11.9%)減少し、49億77百万円となりました。

商品別には、携帯電話用音源LSIが、需要の減少により減収となりました。

営業損失は2億61百万円(前年同期は、営業損失4億32百万円)となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ34億70百万円(26.5%)減少し、96億47百万円となりました。営業損失は8億1百万円(前年同期は、営業損失6億1百万円)となりました。

(リビング事業)

当第2四半期(3ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ21億16百万円(19.0%)減少し、90億53百万円となりました。引き続き新築住宅着工数が大幅に減少しており、システムキッチン及びシステムバスが減収となりました。

営業利益は前年同期に比べ3億71百万円(878.8%)増加し、4億13百万円となりました。これは販売費及び一般管理費を削減したこと等によります。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ37億71百万円(17.4%)減少し、178億63百万円となりました。営業損失は1億円(前年同期は、営業損失5億28百万円)となりました。

(その他の事業)

当第2四半期(3ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ25億13百万円(28.7%)減少し、62億43百万円となりました。

商品別には、自動車用内装部品が減収となりました。また、当連結会計年度中の撤退を決定しているマグネシウム成形部品も減収となりました。

営業利益は2億22百万円(前年同期は、営業損失2億59百万円)となりました。これは自動車用内装部品事業及びマグネシウム成形部品事業におけるコスト削減等によります。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ64億56百万円(33.9%)減少し、126億1百万円となりました。営業利益は、前年同期に比べ2億44百万円(58.0%)減少し、1億77百万円となりました。

(2) 所在地別セグメントの業績

当第2四半期(3ヶ月)において、日本は、売上高543億76百万円(前年同期比13.9%減少)、営業損失4億54百万円(前年同期は、営業利益15億71百万円)となりました。北米は、売上高152億73百万円(前年同期比27.2%減少)、営業利益8億21百万円(前年同期比41.0%減少)となりました。欧州は、売上高192億19百万円(前年同期比22.2%減少)、営業利益13億3百万円(前年同期比32.1%減少)となりました。アジア・オセアニア・その他の地域は、売上高160億48百万円(前年同期比12.9%減少)、営業利益27億2百万円(前年同期比17.7%減少)となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)においては、日本は、売上高1,119億6百万円(前年同期比15.8%減少)、営業損失27億61百万円(前年同期は、営業利益51億34百万円)となりました。北米は、売上高290億22百万円(前年同期比22.8%減少)、営業利益13億66百万円(前年同期比31.0%減少)となりました。欧州は、売上高342億16百万円(前年同期比25.3%減少)、営業利益16億50百万円(前年同期比41.1%減少)となりました。アジア・オセアニア・その他の地域は、売上高292億1百万円(前年同期比14.7%減少)、営業利益42億22百万円(前年同期比30.2%減少)となりました。

(3) 地域別売上高の状況

当第2四半期(3ヶ月)における海外売上高比率は、前年同期に比べ3.0ポイント減少し、50.6%となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)においては、前年同期に比べ2.4ポイント減少し、47.6%となりました。

(日本)

当第2四半期(3ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ72億33百万円(12.3%)減少し、517億85百万円となりました。管楽器、半導体、リビング、自動車用内装部品及びマグネシウム成形部品等が減収となったことによります。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ181億33百万円(14.5%)減少し、1,071億77百万円となりました。

(北米)

当第2四半期(3ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ54億38百万円(26.0%)減少し、154億89百万円となりました。引き続き市況低迷によりピアノ、管楽器、音響機器及びオーディオ等の売上げが減少しました。為替影響を除いた実質ベースでの売上高は、前年同期に比べ約31億円の減少となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ81億51百万円(21.7%)減少し、293億84百万円となり、為替影響を除いた実質ベースでの売上高は、前年同期に比べ約45億円の減少となりました。

(欧州)

当第2四半期(3ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ62億33百万円(24.8%)減少し、188億80百万円となりました。引き続き市況低迷により、ピアノ、電子楽器、管楽器、オーディオ等の売上げが減少しました。為替影響を除いた実質ベースでの売上高は、前年同期に比べ約17億円の減少となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ129億16百万円(27.7%)減少し、336億92百万円となり、為替影響を除いた実質ベースでの売上高は、前年同期に比べ約45億円の減少となりました。

(アジア・オセアニア・その他の地域)

当第2四半期(3ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ34億39百万円(15.5%)減少し、187億62百万円となりました。中国は景気回復もあり、比較的堅調に推移しましたが、中東及び中南米向けポータブルキーボード等が減収となりました。為替影響を除いた実質ベースでの売上高は、前年同期に比べ約3億円増加しました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)の売上高は、前年同期に比べ69億95百万円(17.0%)減少し、340億92百万円となり、為替影響を除いた実質ベースでの売上高は、前年同期に比べ約4億円の減少となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

総資産は、前連結会計年度末から10億64百万円(0.3%)増加し、4,100億39百万円となりました。

このうち、流動資産は、11億64百万円(0.6%)減少し、2,009億33百万円となりました。また、固定資産は、22億29百万円(1.1%)増加し、2,091億5百万円となりました。

流動資産の減少は、主として、流動資産その他のうちの未収入金が減少したことによるものです。固定資産の増加は、主として、時価のあるその他有価証券の時価上昇に伴う評価額増によるものです。

(2) 負債

負債は、前連結会計年度末から11億98百万円(0.8%)減少し、1,559億35百万円となりました。

このうち、流動負債は、60億2百万円(6.7%)減少し、840億47百万円となりました。また、固定負債は、48億4百万円(7.2%)増加し、718億88百万円となりました。

流動負債の減少は、主として、未払金及び未払費用が減少したことによります。固定負債の増加は、主として、退職給付引当金の積み増しによるものです。

(3) 純資産

純資産は、前連結会計年度末から22億62百万円(0.9%)増加し、2,541億3百万円となりました。四半期累計純損失の計上、配当金の支払はありましたが、時価のあるその他有価証券の時価上昇に伴い、評価差額金が増加したこと等によります。

(4) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期(3ヶ月)において現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、71億23百万円増加(前年同期47億77百万円減少)し、期末残高は431億35百万円となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)において資金は、7億37百万円増加(前年同期433億46百万円減少)しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期(3ヶ月)において営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ119億88百万円増加し、136億69百万円となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)において営業活動の結果得られた資金は、126億36百万円(前年同期使用した資金は148億7百万円)となりました。これは、前年同期にたな卸資産の増加及び法人税等の支払額があったことに対して、当第2四半期累計(6ヶ月)においては、たな卸資産が減少し、法人税等が還付となったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期(3ヶ月)において投資活動により使用した資金は、前年同期に比べ67億8百万円減少し、64億71百万円となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)において投資活動により使用した資金は、前年同期に比べ51億47百万円減少し、99億71百万円となりました。前年同期に比べ、関係会社株式の取得による支出が減少したこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期(3ヶ月)において財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ74億29百万円減少し、10億31百万円となりました。

なお、当第2四半期累計(6ヶ月)において財務活動により使用した資金は、前年同期に比べ123億95百万円減少し、14億7百万円となりました。前年同期に比べ、自己株式の取得による支出が減少したこと等によります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の連結業績予想は、平成21年4月30日に公表しておりますが、先行きが不透明なため、当第2四半期においては、見直しを行わず、据え置きます。

当資料の記載内容のうち、将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測には、リスクや不確定な要素などが含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

該当事項はありません。原則として年度の会計処理に準拠しております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準第15号)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準適用指針第18号)が第1四半期連結会計期間から適用されたことに伴い、第1四半期連結会計期間に着手した工事から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、当該変更が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

- ##### ② 第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」(企業会計基準委員会 平成20年5月13日 企業会計基準適用指針第22号)を適用しております。

なお、当該変更が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,123	41,373
受取手形及び売掛金	59,382	51,938
有価証券	869	1,280
商品及び製品	57,505	56,580
仕掛品	13,785	13,526
原材料及び貯蔵品	9,904	10,588
その他	16,818	28,213
貸倒引当金	△1,456	△1,401
流動資産合計	200,933	202,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,103	38,885
機械装置及び運搬具(純額)	13,092	13,271
工具、器具及び備品(純額)	9,358	9,925
土地	56,912	56,690
リース資産(純額)	568	521
建設仮勘定	6,674	8,318
有形固定資産合計	124,710	127,613
無形固定資産		
投資その他の資産	3,474	3,596
投資その他の資産		
投資有価証券	67,501	57,131
その他	14,579	19,690
貸倒引当金	△1,160	△1,155
投資その他の資産合計	80,920	75,667
固定資産合計	209,105	206,876
資産合計	410,039	408,974

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,938	25,625
短期借入金	13,898	14,216
1年内返済予定の長期借入金	599	1,483
未払金及び未払費用	30,051	34,012
未払法人税等	2,103	2,090
引当金	6,119	6,701
その他	5,336	5,919
流動負債合計	84,047	90,050
固定負債		
長期借入金	5,602	3,491
退職給付引当金	31,152	27,628
その他	35,133	35,963
固定負債合計	71,888	67,083
負債合計	155,935	157,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,534	28,534
資本剰余金	40,054	40,054
利益剰余金	174,220	176,739
自己株式	△32	△29
株主資本合計	242,776	245,298
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,499	19,817
繰延ヘッジ損益	124	△394
土地再評価差額金	18,769	18,769
為替換算調整勘定	△36,680	△34,495
評価・換算差額等合計	8,713	3,697
少数株主持分	2,613	2,845
純資産合計	254,103	251,841
負債純資産合計	410,039	408,974

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	250,544	204,347
売上原価	155,456	131,633
売上総利益	95,087	72,713
販売費及び一般管理費	81,757	68,575
営業利益	13,330	4,138
営業外収益		
受取利息	546	133
受取配当金	1,423	335
その他	816	693
営業外収益合計	2,787	1,162
営業外費用		
売上割引	1,795	1,348
その他	1,038	1,104
営業外費用合計	2,834	2,452
経常利益	13,283	2,848
特別利益		
固定資産売却益	53	68
製品保証引当金戻入額	135	96
その他	—	5
特別利益合計	188	171
特別損失		
固定資産除却損	368	138
投資有価証券評価損	—	111
関係会社株式評価損	—	145
特別退職金	106	—
その他	77	10
特別損失合計	552	406
税金等調整前四半期純利益	12,919	2,612
法人税、住民税及び事業税	3,884	1,738
法人税等調整額	4,526	1,519
法人税等合計	8,410	3,258
少数株主利益	135	191
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,373	△837

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	127,264	104,918
売上原価	78,060	66,874
売上総利益	49,204	38,043
販売費及び一般管理費	41,529	34,141
営業利益	7,674	3,902
営業外収益		
受取利息	245	62
受取配当金	877	1
その他	283	510
営業外収益合計	1,406	573
営業外費用		
売上割引	921	702
その他	619	428
営業外費用合計	1,541	1,130
経常利益	7,540	3,346
特別利益		
固定資産売却益	25	58
製品保証引当金戻入額	130	96
その他	—	5
特別利益合計	155	160
特別損失		
固定資産除却損	220	77
投資有価証券評価損	—	77
関係会社株式評価損	—	145
特別退職金	11	—
その他	38	10
特別損失合計	270	311
税金等調整前四半期純利益	7,425	3,195
法人税、住民税及び事業税	2,789	1,029
法人税等調整額	1,272	6
法人税等合計	4,061	1,036
少数株主利益	51	96
四半期純利益	3,311	2,062

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,919	2,612
減価償却費	8,810	6,704
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,105	△8,416
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,457	510
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,308	623
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△14,439	5,698
その他	△1,844	4,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,807	12,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,751	△8,501
有形固定資産の売却による収入	302	309
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,000	5
関係会社株式の取得による支出	△8,283	△847
投資有価証券の取得による支出	△59	—
その他	△327	△936
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,118	△9,971
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,007	376
長期借入れによる収入	1,200	2,789
長期借入金の返済による支出	△2,347	△1,201
自己株式の取得による支出	△18,026	△2
配当金の支払額	△5,157	△2,958
その他	△478	△410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,802	△1,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	381	△520
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,346	737
現金及び現金同等物の期首残高	103,371	41,223
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	947	1,308
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△311	△134
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,661	43,135

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	楽器 (百万円)	AV・ IT (百万円)	電子部品 (百万円)	リビング (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	85,220	16,465	5,651	11,170	8,757	127,264		127,264
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高			403			403	△403	
計	85,220	16,465	6,054	11,170	8,757	127,668	△403	127,264
営業利益又は 営業損失(△)	7,593	730	△432	42	△259	7,674		7,674

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	楽器 (百万円)	AV・ IT (百万円)	電子部品 (百万円)	リビング (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	71,313	13,330	4,977	9,053	6,243	104,918		104,918
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高			201			201	△201	
計	71,313	13,330	5,179	9,053	6,243	105,120	△201	104,918
営業利益又は 営業損失(△)	3,087	440	△261	413	222	3,902		3,902

- (注) 1 事業区分の方法

製品の種類・性質、販売市場等の類似性を考慮して、楽器事業、AV・IT事業、電子部品事業、リビング事業及びその他の事業に区分しております。

- 2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
楽器	ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、教育楽器、音響機器、防音室、音楽教室、英語教室、音楽ソフト、調律
AV・IT	オーディオ、情報通信機器
電子部品	半導体
リビング	システムキッチン、システムバス、洗面化粧台
その他	ゴルフ用品、自動車用内装部品、FA機器、金型・部品、宿泊施設・スポーツ施設の経営

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	楽器 (百万円)	AV・ IT (百万円)	電子部品 (百万円)	リビング (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	166,422	30,310	13,117	21,634	19,058	250,544		250,544
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高			644			644	△644	
計	166,422	30,310	13,762	21,634	19,058	251,189	△644	250,544
営業利益又は営業損失(△)	13,823	215	△601	△528	422	13,330		13,330

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	楽器 (百万円)	AV・ IT (百万円)	電子部品 (百万円)	リビング (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	139,686	24,547	9,647	17,863	12,601	204,347		204,347
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高			391			391	△391	
計	139,686	24,547	10,038	17,863	12,601	204,738	△391	204,347
営業利益又は営業損失(△)	4,890	△26	△801	△100	177	4,138		4,138

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類・性質、販売市場等の類似性を考慮して、楽器事業、AV・IT事業、電子部品事業、リビング事業及びその他の事業に区分しております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
楽器	ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、教育楽器、音響機器、防音室、音楽教室、英語教室、音楽ソフト、調律
AV・IT	オーディオ、情報通信機器
電子部品	半導体
リビング	システムキッチン、システムバス、洗面化粧台
その他	ゴルフ用品、自動車用内装部品、FA機器、金型・部品、宿泊施設・スポーツ施設の経営

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・オ セアニア・ その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	63,149	20,983	24,696	18,435	127,264		127,264
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,176	379	331	22,445	71,332	△71,332	
計	111,325	21,362	25,027	40,881	198,597	△71,332	127,264
営業利益	1,571	1,392	1,919	3,285	8,168	△494	7,674

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・オ セアニア・ その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	54,376	15,273	19,219	16,048	104,918		104,918
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,665	177	346	15,711	48,901	△48,901	
計	87,042	15,451	19,565	31,760	153,820	△48,901	104,918
営業利益又は 営業損失(△)	△454	821	1,303	2,702	4,373	△470	3,902

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北米……………アメリカ、カナダ

欧州……………ドイツ、フランス、イギリス

アジア・オセアニア・その他の地域……………中国、韓国、オーストラリア

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・オセアニア・ その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	132,914	37,599	45,813	34,217	250,544		250,544
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	86,456	788	646	40,056	127,947	△127,947	
計	219,371	38,387	46,459	74,273	378,491	△127,947	250,544
営業利益	5,134	1,981	2,801	6,050	15,968	△2,637	13,330

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・オセアニア・ その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	111,906	29,022	34,216	29,201	204,347		204,347
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,878	470	655	28,931	89,936	△89,936	
計	171,785	29,492	34,872	58,133	294,283	△89,936	204,347
営業利益又は 営業損失(△)	△2,761	1,366	1,650	4,222	4,477	△338	4,138

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北米……………アメリカ、カナダ

欧州……………ドイツ、フランス、イギリス

アジア・オセアニア・その他の地域……………中国、韓国、オーストラリア

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	欧州	アジア・オセアニア・その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	20,928	25,114	22,202	68,245
II 連結売上高(百万円)				127,264
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.4	19.7	17.4	53.6

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	欧州	アジア・オセアニア・その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	15,489	18,880	18,762	53,133
II 連結売上高(百万円)				104,918
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.8	18.0	17.9	50.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北米……………アメリカ、カナダ

欧州……………ドイツ、フランス、イギリス

アジア・オセアニア・その他の地域……………中国、韓国、オーストラリア

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	欧州	アジア・オセアニア・その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	37,536	46,608	41,087	125,232
II 連結売上高(百万円)				250,544
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.0	18.6	16.4	50.0

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	欧州	アジア・オセアニア・その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	29,384	33,692	34,092	97,169
II 連結売上高(百万円)				204,347
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.4	16.5	16.7	47.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北米……………アメリカ、カナダ

欧州……………ドイツ、フランス、イギリス

アジア・オセアニア・その他の地域……………中国、韓国、オーストラリア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。